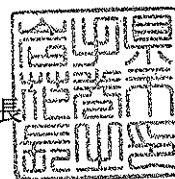




19花土建第26号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長殿

花巻市長



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のあった標記について、別添のとおり回答します。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

【地域の自立と競争力強化】

- ・産業経済、地域間交流の基盤となる高規格幹線道路網の整備
- ・地域内外を結ぶ幹線道路の整備

少子高齢化や市町村合併が進む中、今後ますます地方分権の方向に時代は変革していくと思われる。この変革の時代に最も重要なことは、地方自治体がいかに自立していくかということである。地域間交流と連携、産業経済の再編、発展、活性化を支える高規格幹線道路網の整備は非常に重要である。

地域格差が大きくなっているが、格差を縮めるには道路が絶対条件である。岩手を見ても、内陸部と沿岸部を考えると道路整備が重要である。

仙人峠道路が平成 19 年 3 月に開通したが、開通の効果を肌で感じている。横断道の全線開通による効果は計り知れないものがあると考えている。

空港、駅、インターチェンジ等へのアクセス強化、医療等のサービスを広域的に共有できる連携、交流基盤となる幹線道路網整備についても非常に重要である。

企業利益を考えると地方、地域で企業が来る（来たい）ところ、来ないところがはっきりしている。来たいところ、条件の良いところに真に必要な幹線道路を配し、その企業で働くための通勤道路を整備すれば良い。

合併市町村の一体感をつくるための交流連携の面からも道路整備が必要である。

【高速ネットワークの効率的活用】

一般国道の混雑度合いに比べて高速道路の混雑は、ゴールデンウィーク等特定の時期のみであり、交通容量的に余裕がある。弾力的に料金体系を見直し、並行する一般道の渋滞緩和につなげられないか。維持補修を含む一般道の道路管理の負担が大きく悪循環の状態である。国道 4 号が渋滞するので、裏道も交通量が多く、安全対策の要望も多くなっている。

ETC を利用したインターチェンジの増設等（スマート IC）により使いやすいようにし、利用促進することも必要である。

花巻市内の 3 つの IC をもっと有効に活用したいと考えている。

【市道等の生活道路の整備】

幹線道路から入った生活道路には、緊急車両が入れない幅の狭い道路、未舗装の道路が多数存在している。地方道路整備臨時交付金等の大幅贈等で整備促進が必要である。（市道舗装率 H 1 8 . 4 . 1 現在 4 8 . 9 %）

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・将来ビジョン、整備効果の検証等、住民にわかりやすく説明、理解を得ることが必要。
- ・事業の進行管理を徹底し早期完成による事業効果発現。
- ・既存施設の効率的、効果的な管理手法の確立。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路はもう十分、無駄といった論調が大都市を中心にある中、道路は社会経済を支える最も重要なインフラである。特に公共交通機関の発達していない地方にとっては命綱である。わかりやすく説明理解を得ることが必要。もちろん無駄は徹底的に検証し、省いていくことが当然である。

地方と中央の日常生活の大きな違いは、車の有る無しであり、地方は車のない生活は出来ない。自ずと車の保有台数も多くなる。日常生活の現実を見てほしい。

東北（雪国）特有の課題として、克雪、雪道対策が重要である。